

## 第9章 情報公開・説明責任

### 9-1 広報部

#### 達成目標

ステークホルダーから見て、情報を公開するだけではなく、その情報の見方についても解説されている分かりやすい情報を公開する。

#### 目標

学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の趣旨による、努力目標とされる項目についてもWeb上に掲載する。

#### 現状説明

学内関係部署（大学学長室、法人本部高等教育部、財務部等）と緊密な連携をとり、社会、学生、保護者、また高校生に必要な情報の掲載をWeb上で継続的に行い、合わせて、学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の趣旨に沿った義務的項目は公表している。さらに、今年度の努力目標とされる項目に対しても、各学部のカリキュラム・ポリシーを掲出するなどして、情報公表を果たした。

学校教育法施行規則等により求められている項目の情報公表に対し、閲覧者にとってより分かりやすくするための表記やビジュアルを用いての改善を進めた。

#### 点検・評価

##### <行動計画内容の実現度> A

学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の趣旨に沿った、義務的項目については2011年度に情報更新した。Webページ「情報の公表」では「教育研究上の基礎的な情報」、「修学上の情報等」、「財務情報」、「教育研究上の情報」の4つの分野で情報を整理し、各分野内に具体的な項目を列挙している。今年度は努力目標とされる教育研究上の目的に関する項目もWebページに掲載した。

##### <成果と認められる事項>

「情報の公表」項目に対し、分かりやすくするための表記の工夫やビジュアルを用いた表現など改善を行った。バナー及びページの設置により情報のわかりやすさは向上した。また、新規で「入学生向け」のページを設けるなど情報量の拡大を図った。

##### <改善すべき事項>

義務的項目以外の情報について、今後も継続的に掲載するとともにさらに見やすいWebページの設計に努める。

#### 今後の改善・改革に向けた方策

##### <長所の維持・伸長方法>

特になし。

##### <改善方策>

情報公開・説明責任に関する行動目標として、学費納入者である保護者、学生を中心としたステークホルダーに対する財務情報の公表から進めてきたが、公的な教育機関として公

表が求められている事項はもとより、教育力の向上や海外発信の観点を含め、学生、保護者、社会をはじめ高校生に分かりやすい確実な情報公開が必要である。

## 9－2 学長室

### 達成目標（1）

ステークホルダーから見て、情報を公開するだけではなく、その情報の見方についても解説されている分かりやすい情報を公開する。

### 目 標

自己点検評価報告書の公開を踏まえた編集の実施。

2012年度目標：外部評価の実施。

### 現状説明

2011年度にステークホルダーから見て分かりやすい情報を公開するため、教育研究年報（自己点検評価報告書）のダイジェスト版を作成することを計画していたが、現在までに作成には至っていない。要約版の公開が急務であるが、計画立案、概要の検討にとどまっており、具体化のための準備が遅れているのが現状である。それに合わせて、情報公開・説明責任に関して外部評価を実施することを目標としているが、未だ計画・準備段階である。

### 点検・評価

#### ＜行動計画内容の達成度＞C

要約版の内容について、具体的に検討されたものの、具体的な公開までには至らなかつた。また、ダイジェスト版の作成は、未だ計画・準備段階であり、外部評価の実施には至っていない。

#### ＜成果と認められる事項＞

特になし。

#### ＜改善すべき事項＞

来年度は、教育研究年報のダイジェスト版の作成を年内に実施することを目指し、早期に計画を立案し作成・配布する。また、作成した資料に関する評価を実施する。

### 今後の改善・改革に向けた方策

#### ＜長所の維持・伸長方策＞

特になし。

#### ＜改善の方策＞

来年度は、教育研究年報のダイジェスト版の作成について、早期に計画を立案し作成し、夏ごろをめどに配布する。また、ダイジェスト版の外部評価として、ステークホルダー（学内学生等）を選定し、アンケートを実施する。

**達成目標（2）**

学外（卒業生等のステークホルダー）からの意見を聴取し、大学の改善に役立てるためのWebを活用したネットワークを構築する。

**目 標**

Webを活用したネットワークを構築する。

2012年度目標：Web構築試行。

**現状説明**

公式Webサイトには、卒業生のためのWebネットワーク「東海大学ネット」内に、「感想・意見・リクエスト等はこちらから」と称して、卒業生が情報を送るためのメールアドレスを記載している。また、各種問合せの窓口を記載し、卒業生を始めとするステークホルダーからの意見聴取の仕組みを作っているが、学外からの意見聴取システムの具体化を進めているとは言い難いのが現状である。

**点検・評価**

＜行動計画内容の実現度＞ C

問合せ窓口のメールアドレスは表記しているものの、公聴広報機能は有している段階までは進んでいないので、実現度は「C」と自己評価できる。

＜成果と認められる事項＞

特になし。

＜改善すべき事項＞

公式Webサイト上で情報の公表の整備を進めているが、学外からの意見を公聴するシステムの整備は不十分である。

**今後の改善・改革に向けた方策**

＜長所の維持・伸長方法＞

特になし。

＜改善方策＞

抜本的な取組が必要である。

Webによる公聴機能強化には、学長室、総合情報センター及び法人理事長室広報部を中心として、卒業生対象であれば校友課等の関連部署が参画するかたちで、検討を進めいく必要がある。

## 9－3 事務部

### 達成目標（1）

ステークホルダーから見て、情報を公開するだけではなく、その情報の見方についても解説されている分かりやすい情報を公開する。

### 目 標

#### 〔事務部〕

後援会、同窓会、支援者、受験生等に発信する情報について、対象者ニーズを常に把握し、タイムリーで分かりやすいものとする。

#### 〔校友課〕

同窓会情報・学園の現況等、常に最新の情報を公開する。

#### 〔伊勢原経営企画室〕

受験生向け情報提供は、オフィシャル・HP に掲載。伊勢原キャンパス HP で、それ以外の研究者等ステークホルダー及び学内教職員・在学生向けの情報を提供する。例；公開講座情報、医学部年報検索ファイル（5カ年）、各種フォーマット・ダウンロードページ、伊勢原キャンパス・写真カット集等を新設予定。

### 現状説明

#### 〔事務部総括〕

校友課において、後援会、白鷗会（不知火会）、同窓会等の行事や校友会 HP において、常に最新の情報を提供するよう取り組んだ。また、伊勢原校舎においては伊勢原キャンパス HP と、医学部、医学研究科、健康科学部、医学部付属病院の各 HP との整理を行った。

#### 〔校友課〕

東海大学校友会各会のホームページから常に最新情報を公開する。学園の現況は校友会の関連するものはホームページから紹介するほか、校友会関連の各行事の際に出席者（課員・来賓として出席する教職員）から直接参加者に対して報告を行う。報告内容は広報資料等を基に毎月現状に合わせて変更・確認し、常に最新のものを聞き手に報告できるようにする。

#### 〔伊勢原経営企画室〕

予算の効率的な執行を目的に伊勢原キャンパス HP の役割分担を見直し、公開講座情報、医学部年報検索ファイル（5カ年）、各種フォーマット・ダウンロードページについては、医学部 HP、医学部研究科 HP、健康科学部 HP、健康科学部研究科 HP、医学部付属病院群 HP に集約しリンクにより対応することとした。

伊勢原キャンパス HP は、トピックスやダウンロードページの肉を切り落とし骨格のみとして、経費節減の対象とした。

## 点検・評価

### <行動計画内容の実現度> A

[事務部総括]

校友会 HP の改善に取り組んだ結果、同窓会 HP 訪問者が昨年度の 55,104 件から 62,626 件に増加した。伊勢原校舎においては、各 HP との整理を行い、検索の容易性が高まった。これは経費の削減にも繋がった。

[校友課]

2010 年度の同窓会 HP の総閲覧者数 55,014 から 62,626 人に増加・総ページ閲覧数は微減となったが、訪問者の延べ数は増えた。

[伊勢原経営企画室]

計画の見直しにより、他 HP にて目標を達成した。

### <成果と認められる事項>

[事務部総括]

特になし（個別課題については各校舎・部署毎の記載による）。

[校友課]

同窓会各支部・学科からの開催案内を元に同窓会からのお知らせを HP のニュース＆トピックスに掲載し、参加者を募った。

[伊勢原経営企画室]

予算節減効果。

### <改善すべき事項>

[事務部総括]

特になし（個別課題については各校舎・部署毎の記載による）。

[校友課]

イベント等の情報を可能な限り早期に収集し、公開する必要がある。

[伊勢原経営企画室]

特になし。

## 今後の改善・改革に向けた方策

### <長所の維持・伸長方法>

[事務部総括]

特になし（個別課題については各校舎・部署毎の記載による）。

[校友課]

引き続き、同窓生に向けた情報を逐次公開するように体制を整える。

[伊勢原経営企画室]

特になし。

### <改善方策>

[事務部総括]

特になし（個別課題については各校舎・部署毎の記載による）。

[校友課]

HP の閲覧者が興味を持って見る事の出来るように、記事内容の充実を図る。

[伊勢原経営企画室]

特になし。

**達成目標（2）**

学外（卒業生等のステークホルダー）からの意見を聴取し、大学の改善に役立てるためのwebを活用したネットワークを構築する。

**目 標**

## 〔事務部〕

大学ホームページ、東海大学ネット、付属高校生等、既存のネットワークを積極的に活用し、大学の方向性に関する意見を幅広く求めて行く。

## 〔校友課〕

東海ネット再生・充実を図り、加入・参加者増を目指す。

## 〔伊勢原経営企画室〕

伊勢原キャンパス医学部HPに、通信欄（ご意見や提案等）を設け、改善に役立てていく。

※伊勢原キャンパスHPは、2007年に健康科学部、2008年に医学研究科、2009年に医学部と順次計画に基づき、リニューアルを進め、トップページ等分かり易いデザインを検討、学外一般向けにアピールでき、詳細で新鮮な情報を提供し、学内向けにも使いやすく便利なサイトとすることを指針とし、年次ごとに内容の充実を図る。

**現状説明**

## 〔事務部総括〕

ステークホルダー等とのネットワーク学外（卒業生等のステークホルダー）からの意見を聴取し、大学の改善に役立てるという目標達成のインフラ作りのため、校友課において同窓会員に生涯メールアドレスの取得を呼びかけた。また、伊勢原校舎においてはHPの更新を月2回からリアルタイムに改めてタイムリーな情報提供に努めた。

## 〔校友課〕

東海大学同窓会HP、及び大学新聞同窓会特集号（9月初旬発行）で、同窓会員に登録を呼びかけた。登録者には学園メルマガ（T-Cross）を月1回発行し、学園の最新情報を発信した。登録代行サービス、及びログイン情報の発行は常時受け付けている。生涯メールアドレスの取得者は10,182人で昨年度より241人増加、そのうち転送先を設定している方は9,703人で昨年度より154人増加した。

## 〔伊勢原経営企画室〕

- ① トップ画面のトピックス＆ニュース欄を見やすくし、公開講座やセミナー等の開催情報をいち早く公開出来る様にし、月2回だった更新制限を無くしレスポンスをあげタイムリーな情報を提供することを実現した。
- ② トップ画面に最新の時事情報をバナーボタンを設け、情報提供できるよう改善した。
- ③ 各ページの更新を容易にし、情報の最新化を目指した。
- ④ 各種フォーマット・ダウンロードページを設け、使い勝手を向上した。
- ⑤ 医学部年報検索ファイル（5か年間）を新設した。

## 点検・評価

### <行動計画内容の実現度> B

#### [事務部総括]

生涯メールアドレスの取得者は、前年度から微増の 10,182 人となった。しかし、伊勢原校舎を含めて、現時点では目標としたステークホルダー等からの意見吸収には繋がっておらず、更なる努力が必要である。

#### [校友課]

増加率は、メールアドレスの取得者は 2.4%、転送先を設定している人は 1.6% であった。

#### [伊勢原経営企画室]

2012 年度の閲覧件数は、月平均で 15,362 件であり、2011 年度の月平均 14,915 件に比較し、3 % の増加である。（目標値 5 % 増）

### <成果と認められる事項>

#### [事務部総括]

特になし（個別課題については各校舎・部署毎の記載による）。

#### [校友課]

学園からのメールマガジンの東海大学ネット経由の購読者は 6,400 名余りとなっている。

#### [伊勢原経営企画室]

上記、現状説明にある取り組みを実現した。

### <改善すべき事項>

#### [事務部総括]

特になし（個別課題については各校舎・部署毎の記載による）。

#### [校友課]

引き続き、2008 年度以降の卒業生への Web サービスの提供、及び旧九州東海大学・旧北海道東海大学・旧短期大学部高輪及びその前身の各大学出身者の登録手段を検討する。

#### [伊勢原経営企画室]

特になし。

## 今後の改善・改革に向けた方策

### <長所の維持・伸長方法>

#### [事務部総括]

特になし（個別課題については各校舎・部署毎の記載による）。

#### [校友課]

引き続き、学園の最新情報を発信する手段として、また同窓生相互の交流を促進するためのツールとしての利便性を広報する。

#### [伊勢原経営企画室]

医学部・医学研究科 HP の改訂に比べ健康科学部・健康科学研究科 HP の改訂が少なかつたため、今後見直しを図りたい。今後、伊勢原キャンパスの写真カット集などを掲載していきたい。

<改善方策>

[事務部総括]

特になし（個別課題については各校舎・部署毎の記載による）。

[校友課]

現状では生涯メールアドレスの転送サービス・メルマガの購読が主な利用方法となっている。Webサービスはサーバ老朽化と、登録者の利用率を上げるため利用形態を刷新する。

[伊勢原経営企画室]

特になし。